# HIGH CHANGE Travellers

Amazing?



Water Library in Bangkok

Professional work can coexist with a happy life

Srisuda Wanapinyosak

- Deputy Governor, Tourism Authority of Thailand -

# Inquiry for HighNetWorth Alert o@highnetworth.co.jp

# ■ ■ Website

富裕層ファイナンス戦略総合研究所



# アセットマネジメント

オーストラリアの不動産開発業者は特にリーマンショック後に銀行融資をなかなか受けられない現実がある。銀行が不動産開発 う手法で急成長している会社がある。メルボルンに本社を置くバ !く場所、いくらテクノロジーが進化しているとはいえ、人口増加に加え建物に永久性が担保されない以上、常識で考えても新し ャンスとなる「差」が生じ始めているのだ。そこに目を付けて 不動産開発は必要だし、よって資金ニーズが常に存在する。このようにオーストラリアの不動産開発マー 対する融資を絞り込んでいることが背景にある。しかし不動産開発は経済成長と切っても切れないものだ。人が住む場所、人が 氏にインタビューを実施した。 オーストラリアの不動産開発に対するハンズオンレンディングと ナーアセットマネジメントだ。私は今回、バナーグループCE ケットには、ビジネス

# その目利きの素晴らしさ トラックレコードでわかる

に取るようにおわかりいただけるだろ ひとつだ。バナーアセットマネジメン から入るのが最もわかりやすい指標の 定的なリターンを出していることが手 れを保証するものではないとはいえ、 金融サービスの話はトラックレコード 過去のトラックレコードは将来のそ (左頁参照) (以下BAM)のトラックレコー を見れば、 BAMが安

開発に潜むリスクを熟知しているから ものにしか投資しない。我々は不動産 「入念なデューディリジェンスを経た

ら我々は、あらゆる融資機会に対する

リュー・ターナー氏(以下アンディ氏) だ」とバナーグループCEOアンド

でもあるということを意味する。だか だ。ファンドには私のお金や株主のお 組みもある比較的安全なマーケット オーストラリアは貸手保護の法的な枠 高いリターンを投資家にもたらしてい ち投資家のリスクは直接我々のリスク る理由は、まさにここにある。 融資を手掛けている。我々が相対的に 金も相当額入っている。 に制約を設けている、法人向け不動産 「我々はオーストラリアの銀行が融資 アンディ氏は続ける。 それはすなわ しかも

ڔؘ ジャーと考えてもらえればいいだろ 後の定期的なプロジェクトチェックや のような役目も果たす、ファンドマネ ディールメーカーでもあり、 観的、客観的評価を常に欠かさない。 外部アドバイザーのレポートなど主 徹底的なデューディリジェンスと融資 金融機関

金が確実に戻ってくる案件か否か、と スにのみ融資しているだけなのだ。だ いうことなのだ。我々は我々に適した 初に自問自答することは から、チャンスが生じた時に我々が最 範囲内で完全に事業が理解できるケー わけではなく、我々がとれるリスクの 「我々はすべての案件に融資実行する 一融資した資

> ディールが1案件のみ、ということも 案件のデューディリジェンスを行い、 案件を選ぶことができるし、 しばしばだ」。 、 月 に 10

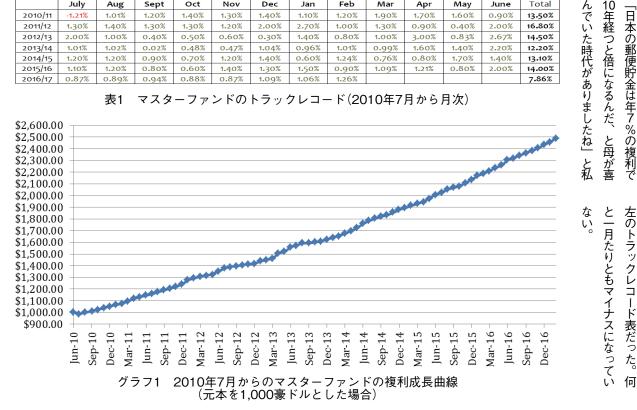
ることに成功しているのだ。 必ずやる」という良い評判を築き上げ で「できることを言い、言ったことは のだろう。が、 合致しないものには何もしない。一方 魅力的に聞こえる話はたくさんある BAMは自らの哲学に

不動産マーケットで生じている「差 う。その大きな要因はオーストラリア 家にとって大いに魅力的に映るだろ 過去6年間続く年平均14%のリター 安定志向の強い日本の個人投資

にある。「決定的に不足している資金

	July	Aug	Sept	Oct	Nov	Dec	Jan	Feb	Mar	Apr	May	June	Total
2010/11	-1.21%	1.01%	1.20%	1.40%	1.30%	1.40%	1.10%	1.20%	1.90%	1.70%	1.60%	0.90%	13.50%
2011/12	1.30%	1.40%	1.30%	1.30%	1.20%	2.00%	2.70%	1.00%	1.30%	0.90%	0.40%	2.00%	16.80%
2012/13	2.00%	1.00%	0.40%	0.50%	0.60%	0.30%	1.40%	0.80%	1.00%	3.00%	0.83%	2.67%	14.50%
2013/14	1.01%	1.02%	0.02%	0.48%	0.47%	1.04%	0.96%	1.01%	0.99%	1.60%	1.40%	2.20%	12.20%
2014/15	1.20%	1.20%	0.90%	0.70%	1.20%	1.40%	0.60%	1.24%	0.76%	0.80%	1.70%	1.40%	13.10%
2015/16	1.10%	1.20%	0.80%	0.60%	1.40%	1.30%	1.50%	0.90%	1.09%	1.21%	0.80%	2.00%	14.00%
2016/17	0.87%	0.89%	0.94%	0.88%	0.87%	1.09%	1.06%	1.26%					7.86%

マスターファンドのトラックレコード(2010年7月から月次)



# There is rapid growth of hands-on lending in the Australian real estate market.

## - Banner Asset Management -

Real estate developers in Australia are having difficulties sourcing funding, with limited bank lending available, especially since the global financial crisis. However, real estate development is inseparable from economic growth. Where people live, where people work, new buildings are needed for population growth and replacement of old stock. Australia has a growing population and economy, and a demand for development finance. The continuing demand for development projects and limited availability of funding creates an opportunity for private lenders. There is a company that is growing rapidly in the Australian real estate development market, with its hands-on lending approach, the Melbourne-based, Banner Asset Management (Banner). We had an opportunity to interview Mr. Andrew Turner, CEO of Banner Group.

Interview & Text: Tatsuya Masubuchi (Chief Editor of HighNetWorth Lifestyle Travellers)

## Great connoisseurs can be understood by their approach

We all know the investment rule that past performance does not indicate future returns. But I think a business comprising experienced lenders and asset managers, which has developed systems and procedures, and a strong track record, is an indication of a sound business approach, if not return. Looking at the performance of Banner (see above), you can see Banner's consistent stable returns. "We only invest in deals where we have completed an exhaustive due diligence and we have understood where the risk resides" said Mr. Andrew Turner, CEO of Banner Group (Andy).

Andy continues; "We are providing secured real estate loans for developers and corporations, in a market where Australian bank finance is limited. This allows us to achieve higher returns than are traditional. Australia also has what would be seen as a 'lender friendly' legal system allowing the taking of security and its enforcement without too many impediments. Shareholders in Banner frequently invest in the loans (on equal terms with all other investors) so you are 'investing with us'. Also, once a loan is made we do not 'set and

forget. We have regular project reviews, with the developer (usually monthly) and receive independent advisors' reports, until the loan is fully repaid. We are a deal maker, a financial service provider and an asset manager."

提供と需要が途切れない資金ニーズ

といいんだよ」と見せてくれたのが

:日本の昔話を話した際に、「もっ

"We do not approve every loan submitted to us. BAM only invests where we can fully understand and are comfortable we can manage the risk. Our first question is "how do we get paid back if we lend?" We have the ability to pick and choose where we lend. We often see 10 deals in a month, but may choose to lend on one that fits our lending criteria.

There are many lending proposals that initially sound attractive, but Banner will not do anything that does not fit their philosophy. Banner has built a reputation of being good as their word; we say what we do, and do what we say. With consistent returns of 14% per annum, Japanese stability-oriented investors must ask how have these returns been achieved. The major reason for the attractive returns is the dislocation in the Australian market – the lack of bank funding has made property financing a scarce commodity. This has led to higher returns on development loans.

Alternative income funds are rare and this gives investors the ability to enhance their portfolio's return with a unique investment. Living in this financially turbulent era, one needs investment ideas that are global. There are risks in investing offshore but the reality is that today one must look beyond Japan to earn returns.

Although it can be said that the relative risk is higher than, say, the post office savings of my mother's generation.

"We try to eliminate as much risk as we can, this is our first and most important job, and the fact that even during the global financial crisis, our track record has shown stability, which Japanese investors prefer (Mr. Trevor Reynolds, Banner Group Director)."



# いったい何が違うのかっ 通常の銀行の融資と

資金の需要供給バランスの差に目を るBAMのビジネスだが、 クなビジネスであることは確かだ。 付けて前述のような安定的なリター オーストラリア不動産市場における んを投資家にもたらしているユニー 聞けば聞くほどごく普通に聞こえ いわゆるお金の流れに関しては、 現在の

ことも戦略的で、玄人好みといえよ に思える。一般的にもよくある話だ にしか関わらないことが大きな特徴 実なリターンを確保できるディール のケースでは投下資本の安全性と確 ア不動産開発のみに絞りこんでいる 彼らが最も得意とするオーストラリ たり前に実行することは極めて難し とまったく変わらない。 銀行が不動産開発業者に融資する形 ただけるだろう。しかも融資対象を いことは読者の皆様にもおわかりい この当たり前に聞こえる話を当 が、 B A M

ジャパン代表磯野氏)」。 から募集を開始しました 能な枠組みを創り、2017年初頭 「2万5000豪ドルから投資が可 (バナー

う。投資にはリスクはあるとはいえ、 バルな発想に基づく投資機会だろ に求められるのはこのようなグロー 資産運用はどこまでいっても自己 。この激動の時代に生きる我々

造となっている。

ドはおおまかに4ページのような構

バナーグループが提供するファン

村回り重視ファンド

ループの主要事業となっていたファ ンドで、2016年までのバナーグ 法による違いがあるが、主に大口の 複数の投資先があるか、など投資手 ンドだ。 人投資家や機関投資家向けのファ もちろん今でも主要事業で

資家の少額投資参加を可能にしたの のためのファンドが、日本の個人投 ラリア不動産開発に対する融資組成 だが、BAMが募集する、オースト かアクセスしにくいのが実態のよう 効率を高める海外ファンドはなかな る。ユニークな投資スタイルで投資 に少額投資の門戸を開放した点にあ をコアに据えながらも、個人投資家 4のリテールファンドで、主要事業 よく聞くが、私が注目したいのは図 ニシャル投資が必要なことが多いと 参加するには500万ドル以上のイ 多くの機関投資家向けファンドに



あることに何ら変わりはない。 図3と図4は、投資先がひとつか、

は語る。 リターンが安定しているトラックレ は言えるものの、「徹底的なリスク らいたい」。とバナーグループ ディ コードが示す事実をもう一度みても ヘッジそのものが我々のトッププラ 郵便貯金より相対的リスクは高いと レクター トレバー・レイノルズ氏 イオリティだ。世界が金融危機でも 方で、前述した私の母親世代の

そのものなのだ。 まさに日本人が好む投資スタイル

リターンを求めるなら日本という枠 釈迦に説法だ。 組みに捉われないことが重要なのは

### What exactly is it different from ordinary bank loans?

The more I heard about Banner, the more it sounds like a normal lending and asset management business, with a unique opportunity, in the current financial environment in Australia.

Regarding the flow of money, it does not differ from the way banks finance real estate developers. However, it is clear to me that Banner is only entering deals that ensure capital is safe and always returned.

### A fund focusing on high yield income is now available to Japanese individuals

Funds provided by the Banner Group are structured roughly

as shown on page 43. Figure 3 shows the funds for individual investors with large investments.

Until 2016 the Banner Group was a fund that deals primarily with institutional players and that has become the major business focus.

Many funds have \$5 million + minimum entry points. What I point out in Figure 4, is that Banner can now be accessed by smaller investors. The Ebisu fund (which invests in the Australian Fund) allows individual access to investments. This creates a wonderful opportunity for investors to access this type of investment at a lower entry point.

, "Banner has created a framework so that one can begin to invest from AUD\$ 25,000. The fund started from the beginning of 2017 (Mr. Isono, Banner Japan)."

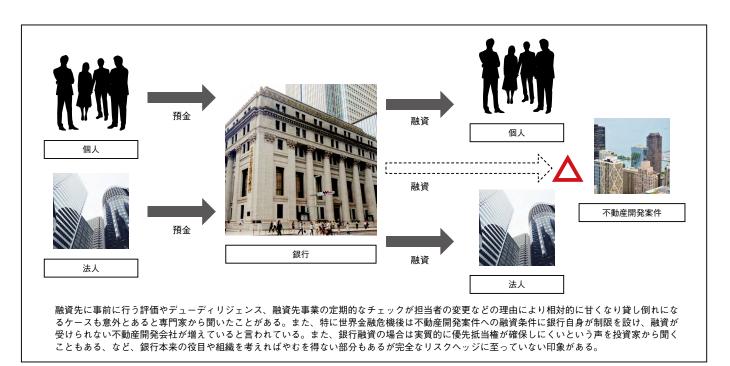
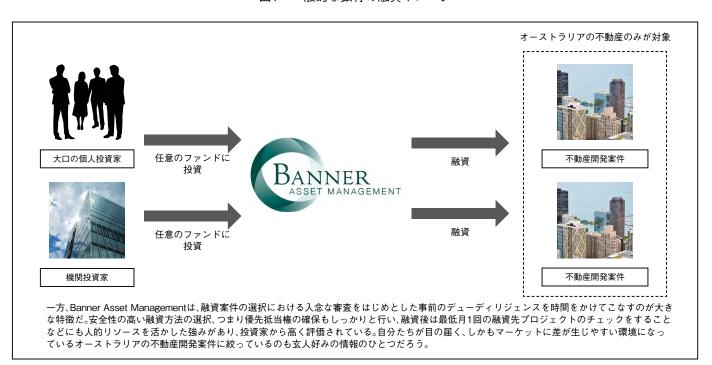


図1 一般的な銀行の融資イメージ



BAMでは、たまにワインを飲ん

21階のテラスにて BAMオフィス

ば我々は投資機会を提供するマッチ

書に投機という文字はない。我々の メーカーのようなものだ。我々の辞



写真左から、バナージャパン代表 磯野史雄氏、 バナーグループCEO アンドリュー・ターナー氏、 ーグループディレクター トレバー・レイノルズ氏。

れば知るほど稀有なものだ。安定感 サービスといえるこの仕組みは、

知

抜群のトラックレコードが示すこの

家に適していると思う。

参加できることもとても日本人投資 ファンドに2万5000豪ドルから 門戸を開放した。とても簡単に言え - 我々は日本やアジアの投資家にも

たものだ。 の味なもの」ってあるんだな、と思っ 聞いて、ビジネスでも「縁は異なも 最後に読者への一言を頼むと

アで立ち上げることになったことを で意気投合しBAMをオーストラリ 4人が東京で勤務経験があり、 驚いた。 5人のBAMの株主のうち チームに参加していることにまずは 弁護士や税理士の資格を持った人が にチームの方々と杯を交わしたが ルンの金融街を見下ろす絶景を眼下 ているそうで、私も誘われてメルボ で語り合うパーティをテラスで行っ

たし、BAMのチームでしかできな ことは私にとってもいい経験になっ ロフェッショナルチームに出会えた

いすごい仕事にワクワクしたもの

ベストに近い方法論だろう。

彼らの

東京

のリスク幅を極力抑えるためには投 る。これは誰しも分かることだ。そ 外投資には常にリスクがついてまわ 繰り返しになるが、 投資、 特に海

> ないが、そこに日本円で数百万円か かなか参加できるレベルのものでは 投資する案件は元来個人投資家がな

ら参加できポートフォリオに組み込 団の目利きによって提供される金融 日本の個人投資家向きであるのは間 める機会を提供し始めたという点で 小さな手堅い銀行のような仕 しかも少人数スペシャリスト集

日本人好みの哲学に乗ってみるのは ることがリスク低減の唯一の方法 ている。後者のリスクはとても大き てはならない。その一方で、資産 と、投資後の推移もフォローしなく て言えば、特に海外投資に関して言 自分で保全するという鉄則に基づい 資に関する情報収集はもちろんのこ えば、今回取材したBAMのような 「やってはならない」類の話となっ を円だけで保有することはもはや ではどうするか? 自分の資産は と私もこの何年かで痛感した。 つまり、分散して資産を運用す 結局はダイバーシフィケーショ

り前に実施する、という単純な哲学

言わば当たり前のことを当た

メルボルンでBAMの少人数のプ

低月1回の融資先レビューを欠かさ

優先抵当権も確保し、

さらに最

念入りなデューディリジェンスを行 哲学は、手堅く投資機会を選択し、

# On the 21st Floor Terrace of BAM's Melbourne Office

I was invited for a glass of wine with the team on their terrace overlooking the financial district of Melbourne. I was surprised to hear the depth of experience of Banner's people, many whom qualified as attorneys and accountants. I also learned that 4 of the 5 stakeholders lived and worked in Japan and all met there to form BAM Australia. "That's good, I thought."

Finally asking the reader for a word, "We open the door to investors in Japan and in Asia, and in a nutshell we are like a matchmaker that provides investment opportunities. There is no speculation in our process. Speculation is not in our dictionary. Our philosophy is to select opportunities carefully with exhaustive due diligence, to secure a first priority mortgage. We then carry out regular business project reviews. It is a simple philosophy that works.

"I was happy to see a small professional team at Banner and pleased at the excellent work the Banner team does." I learned this from my visit.

Again, risks are always there in any investment, especially overseas investment. This is what everyone understands. In order to minimize the risk, it is necessary not only to gather information on investment but to manage the assets after investment. Banner provides regular monthly updates to all its investors.

Sometimes overseas investment can have difficulties, any investment can. But, I feel it is no longer possible to just own Japanese assets alone. I have sensed, over the last few years, risks are gathering in Japan and diversification is the only way to reduce those risks.

Then what should we do? All decisions are based on your own mind but I feel that after my visit and due diligence BAM would be one of the better ideas to start an offshore investment. The projects that they invest in are not at a level that individual investors can participate easily, but since they began offering opportunities to participate with a few million Yen it can easily be incorporated into any portfolio, there is no doubt it is suitable for Japanese investors.

I'd recommend you to follow up on this concept, which is a financial service lending their own money similar to a bank. A fund managed by the best and brightest team with a wonderful knowledge-set and a stable consistent track record, you can begin from \$25,000 AUD.

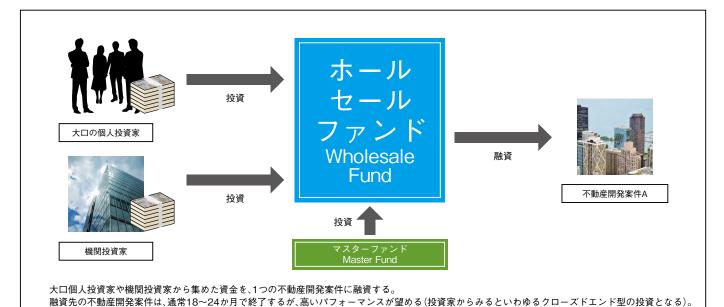
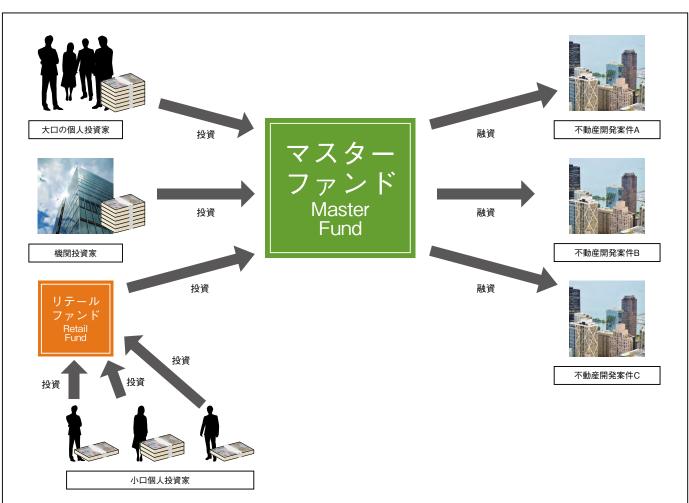


図3 ホールセールファンドのイメージ図

不動産開発案件によっては投資家が1人(社)の場合もあるし、不動産開発案件が複数になるケースもある。すべて案件ベースで動いている証と言える。

このホールセールファンドは、Banner Asset Managementが設立初期から運用している代表的なファンドの形態である。



ホールセールファンドは通常18~24か月で終了してしまうため、永続的な投資をしたいというニーズに対して運用し始めたのがマスターファンドである(投資家からみるといわゆるオープンエンド型の投資となる)。

さらに2017年からは、25,000豪ドルから投資が可能なファンドの仕組み(リテールファンド)も導入。ホールセールファンドとは異なり、集めた資金はもとより複数の不動産開発案件に融資する。

図3とファンド運営上の本質は同様なので、管理コストの問題などからホールセールファンドより若干リターン減が予想されるものの、相対的には高い利回りが想定されている。